

シーン5 町中で…

「街の平和を、んっ♡ はあはあ、脅かす悪の組織めっ…はあ、はあ…ふぁ♡ んんっ♡」

「龍槍神機フロスト・ジ、ジーンがっ…んんっ♡ あっ♡ ダメっ♡ みんなの視線がっ

♡ くっ♡」

「ううっ…ふーっ♡ ふーっ♡ ふーっ♡ …わ、私がっ、来たからには…」

「あっ♡ ああっ♡ 好きにはっ、させないんっ、だからあぁあ…♡ ふーっ♡ ひう

っ♡ …ふーっ♡ …ふーっ♡ クローン戦闘員だけで、か、勝てると思ってるなんて…

私も、舐められたものね…くっ♡」

「ふーっ♡ ふーっ♡ …んっ、ふう…喰らえっ、トリプルDスイングううっ…♡」

「んあっ♡ なんでっ…私の槍がっ、受け止められたっ♡」

「あっ♡ ダメっ♡ それはっ♡ ダメなのっ…んあっ♡ ふーっ♡ ふーっ♡ そんな

に、たくましいおチンポ、見せつけられたら♡ はあはあ、はあはあ、んっ♡」

「私の弱点♡ 晒したくなっちゃうっ♡ あっ♡ あっ、あうっ♡」

「おチンポまみれにされて…わたし、わたしっ♡ いっぱいっ♡ して欲しくなっちゃっ

てるうっ♡ あっ♡ あっ♡ あぁっ♡ すごいっ♡ すごいのおっ♡ 私の周り、おチ

ンポで囲まれちゃってる♡」

「クローン戦闘員のおチンポがこんなに、いっぱい…♡ ふふふ♡ あはあ♡」

「これから戦闘員様に負けちゃったクソ雑魚正義の味方がまちなかでみんなの目の前で

…ふぁ♡ 想像しただけでおまんこびしょ濡れになっちゃう♡ こんな不潔な変態に墮

ちちゃった私が♡」

「手とお口使って♡ いっぱいヌキヌキしますねえ♡」

「じゅっ♡ じゅるうっ♡ んおっ♡ あっ♡ このおチンポっ♡ 好きっ♡ 好きいっ

♡ 私のことっ♡ 何回もっ♡ 犯してっ♡ 気持ちよくしてくれた♡ ぶっといおチン

ポっ♡」

「好きっ、好きっ、好きいっ♡ ちゅっ、ちゅっぶっ、ちゅぼちゅっ、んっ♡ ちゅぼち

ゅぼっ……ちゅぼぼっ、じゅぼじゅぼっ、じゅっぶうっ、んんんうっ♡」

「ああっ♡ 最高おっ♡ すごいっ♡」

「両手にもっ♡ 勃起したおチンポっ♡ シコシコするとおっ♡ ビクンビクンて♡ 反

応してるのっ♡ 見て♡ 見て♡ 下品なポーズでおちんちん様にご奉仕する私♡」

「お口の中もっ♡ くっさいオスの臭いでっ♡ いっぱい♡ はあああんっ♡♡ 私

もおっ♡ これだけで、イっちゃいそうになってるうっ♡ ちゅぶっ、ちゅぼちゅっ♡」

「いっぱい♡ 奉仕っ♡ しますねえっ♡ はあはあ♡ はあはあ♡」

「全部っ♡ 精子っ♡ くださいっ♡ 私にっ♡ くださいっ♡ ちゅぶうっ♡」

「ちゅっぽっ、ちゅぽちゅぽっ、んんっ♡　ちゅっぽっ、じゅぶっ、じゅるるっ、じゅっぶっ……んんあっ♡　はあはあ、はあはあ♡　ああ…♡　もっと、私を見てえ…♡」

「ふーっ♡　ふーっ♡　んっ♡　ふあ♡　んっ…はあはあ♡　はあはあ♡」

「見られてるだけで、感じちゃうっ♡　変態な私をっ♡　もっと見てっ♡　見てえっ♡」

「見ながらっ♡　硬くなったおチンポでっ♡　お口もっ、手も、全部犯してっ♡　犯してえっ♡　んじゅっ、じゅるうっ、じゅっぶっ、じゅぽじゅぽっ！♡　んんぐうっ♡　じゅぽじゅっ！　じゅるるるっ、じゅっぶっ、んほおっ♡」

「はあはあ、はあはあ♡……ああっ♡……おチンポっ♡　ビクビクしてる♡」

「はあはあ♡　はあはあ♡　精子♡　出す？♡　出ちゃう？♡　んっふっ♡　いっぱいっ♡　ちようだいっ♡　精子っ♡　ちようだあいっ♡　んじゅるるっ、じゅっぶっ、ぬちゅぬぶっ、ぬちゅぶちゅっ♡　ぬりゆりゆっ、ぬっじゅっ、ぐぶっ♡　んおおっ♡　じゅぶじゅぶっ、じゅるるっ、じゅっぽっ！♡」

「んんっ！♡　んんうっ！♡　んあっ！♡　らしてっ♡　らしてっ♡　せーしっ♡　らしてえっ！♡　正義の味方の衣装を、はあ、はあ♡……不潔で下品で変態な私にピッタリの白濁液で……んちゅっ♡　汚して堕として塗り替えて♡」

「んちゅぶじゅっ！♡ じゅっ♡、じゅぶぶぶぶぶっ！♡ じゅぶぶぶぶぶ じゅぶぶぶぶ  
おっ！♡」

「んっぐうっ！♡ んんうっ！♡ んんうううううううっ！……♡♡♡」

「ぐぐぐっ！♡ んっぶっ♡ んっ、んっ♡ んっ♡ んんあっ♡ ああ…あっ♡ あ

あ…♡」

「はあ、はあ、はあ、はあ…んんっ♡ うあ…♡ あっ♡ ああ…♡ 精子い♡ すご

お♡ とつても熱くて臭くて濃いい♡……はあはあ♡」

「いっばいっ♡ かけてもらって…♡ んっ♡ はああ…♡ 私い、イっちゃったあ♡」

「んっ♡ はあ、はあ、はあ…♡ 見られ、ながら♡ 精子い♡ いっぱいかけられて

…♡ 気持ちよくなっちゃった…♡ はあ、はあ、はあ♡」

「不潔で下品なのっ♡ なんでこんなに、気持ちいいのお？♡ はあ、はあ、はあ…あ

は♡」

「戦闘員様のおちんちん♡ まだまだぎんぎんで♡ これで私に止めさせちゃう♡」

「あはは♡ 入れやすいように…私のスーツの股間のところ、クソ雑魚正義の味方の弱点  
のおチンポ専用穴です♡」



「はあはあ♡ はあはあ♡ …いっぱい♡ ズボズボして♡ 精液♡ 中♡に♡み  
んなに完全敗北したフロスト・ジーンの無惨な姿、見せつけて上げてください♡」

「んんんうっ♡ あっ♡ あああっ！♡ おチンポっ♡ 中にきたっ♡ キたああっ♡  
んんっ♡ 下からっ♡ いっぱい突いてっ♡ 突いてえっ♡ んんっ♡ あっ♡ あうん  
っ♡ これっ、気持ちいいっ♡ 気持ちいいっ♡ んっぐっ♡ あっ♡ 好きっ♡ 好き  
っ♡♡」

「おチンポっ♡ 大好きっ♡ ズボズボされるのっ♡ 気持ちいいっ♡ ああんっ！♡」

「ああっ！♡ あうっ♡ あうんっ♡……あんっ♡ あっ、あうっ♡……ああんっ♡……  
あっぐっ♡ こ、腰いっ♡ 止まんないよおっ♡ うっぐっ♡ 体っ♡ 勝手にっ♡ 動  
いてるうっ！♡ ひぐっ♡ んっ♡ んおっ♡ おっ♡ おうんっ！♡ はあはあ、はあ  
はあ、んあっ♡」

「き、気持ちよくなりたすぎてっ♡ 私の体あっ♡ バカになってるのおおっ♡ あうん  
っ！♡」

「あっ！♡ あっ！♡ ああっ！♡ んっぐっ！♡ んっううううううっ！♡♡♡」

「はあ、はあんっ♡ ああっ♡ おチンポがっ♡ 目の前にもう一本っ♡」

「はいっ♡ ご指定のパイズリセットですね♡ ありがとうございます！ この立派なおチンポはあ♡ 私のおっぱいで♡ 奉仕させていただきますねえ♡」

「おっぱいまんこ♡ ちゃんと味わってもらえるように、こっちにもおチンポ専用の穴あ♡ 作っちゃいます♡」

「んふふっ♡ はあ、はあ、はあ…ああ…おチンポ、いっぱいで、幸せえ♡ んんっ♡ あうっ♡ んんっ♡ ふっ♡ あっ♡ んんっ♡ んっぐっ♡ あっ♡ ああっ♡ 熱いっ♡ んっ♡ ふふふ、あはははっ♡ 精液でっ♡ ベトベトになってるからあっ♡ あんっ♡」

「すっぐくっ♡ 滑りがいいですねえっ♡ あうんっ♡ あっ♡ うっ、うううっ！♡」  
「おまんこっ♡ すごいっ♡ どうしたん、ですかあ？ あんっ♡」

「私がっ、目の前のおチンポに、夢中になったから、イライラしちゃいました？♡ んうっ！♡ だったら♡ いっぱいっ♡ ズボズボっ♡ 突き上げてっ♡ お仕置きしてっ♡ くださいっ♡」

「アナタのおチンポでっ♡ あうんっ！♡ 私のおマンコっ♡ 壊れるくらいっ♡」  
「ズボズボ♡ ズボズボってえっ♡ 突き上げてえっ！♡ ひっぐっ♡ んんっ！♡」

「あっぐっ♡ あうんっ！♡ んゝ おっ♡ おゝっ♡ おおんっ！♡ あっ、そっ、ダメっ♡」

「おくっ、おぐっ！♡ おっぐうつ！♡ ひあっ！♡ いっぱいっ♡ 突き上げてっ♡  
子宮っ♡ 押しつぶされてっ、ましゅううつ♡ あうんっ！♡」

「脳まで気持ちいいのがっ♡ ひあんっ！♡ 突き抜けてるのっ♡ 分かるうつ♡ はあ  
はあ、はあはあ、ゝんううつ！♡ あうつ♡ あっ♡ あうんっ！♡ あんっ♡」

「ああ…♡ しゅごお♡ はあはあ♡ はあはあ♡ あうんっ♡ はあ、はあ、はあ…お  
っぱいのっ、中あ…♡ ひうつ♡ おチンポ♡ ビクンビクンって震えてるのっ♡」

「精子っ♡ くるっ♡ 精子っ♡ いっぱいっ♡ くらしゃいっ♡ んんあっ♡」

「ゝああっ！♡ おまんこもっ！♡ いっぱいっ♡ 出してっ♡ らしてええっ！♡」

「精子でっ♡ 中あっ♡ タプタプになるくらいっ♡ いっぱいっ♡ 出して、出してえ

っ♡ 元正義の味方の変身デリヘル隷嬢フロスト・ジーンの下品な体、いっぱい使って気  
持ちよくなってください♡」

「ひぐんっ！♡ んゝうあっ！ ああああああああっっっ！…！♡♡♡」

「あっ…♡ ああっ…♡ うぶあっ…♡ せーし♡ せーしい♡ はあはあ♡ はあはあ

♡ こんなに、いっぱい…♡ はあ、はあ、んっぐっ♡ ああ…♡ 体あ…♡ もう頭の  
中まですっかり書き換えられちゃいました♡」

「うっぐ♡ はあ、はあ、はあ…あんなこと言ったのに心も体もみーんなデリヘル嬢にぴたりな私に…♡」

「あうんっ！♡ はあ、はあ、はあ、はあ、ふふふ♡ 延長ありがとうございます♡ はい♡  
どんなプレイでも♡ んふふっ♡ 変身ヒロインやって鍛えた体力がありますから♡  
はあ、はあ、はあ…♡」

「お尻っ♡ すごっ♡ 一気にっ♡ おチンポっ、きたっ、きたあっ♡ っ んおおおっ！♡ あっ…♡ あっ！♡ あっあっあっ…♡ うっぐっ♡ んんあっ♡」

「んんんううううううっ！…♡♡ あっ♡ ヤバっ♡ ヤバあっ！♡ んっぐうっ！♡」

「はあはあ、はあはあ、ま、前にもお♡ おチンポ、ありがとうございますっ♡ っ ん  
らっ！…♡」

「あっ、 っ ああっ！♡ これっ、しゅっ、しゅぎいらっ♡♡ ひぐっ♡ っ んんお  
う…♡」

「おっ♡ っ おっ♡ っ おっ♡ っ おおんっ♡」

「前っ♡ うしろっ♡ 後ろの穴あっ♡ いぎっ！♡ 同時、だなんてっ♡」

「私のこと♡ おチンポ、気持ちよくするっ、穴としか思ってないんだっ♡ はあはあ♡  
はあはあ♡ あっ♡ あっ♡ あっ！♡ おっ♡ おおんっ！♡ おっぐっ♡  
うぶえっ♡ んうっ！♡」

「あっ♡  
ああっ♡  
うっぐっ！♡  
あっ♡  
あっ♡  
あああああっ！♡」

「こんなのっ♡ イっちゃうっ♡ イっちゃうにっ、決まってるう♡ はぐっ♡ ゝ んう  
うっ!!♡ ゝ んうっ!!♡ おっ♡ おおっ♡ おううっ♡ んぐおっ!!♡」

「よ、弱いところっ♡同時に攻められたらっ♡頭、おかひく…なるうっ！♡」

「もお…無理い♡ 無理つ、無理いっ♡  
こんらのっ♡ 勝てにゃいっ♡ 気持ちいいのっ♡  
止まんないっ♡ 止まんないっ♡ からあああっ…!♡」

「ああああっ!!!♡ イぐっ♡ イぐ のおおっ!!♡ 死んじやうっ♡ 死ぬう!!♡  
頭あ♡ こわれりゅっ♡ ゝんぐええっ!!♡ おっ!!♡ おおんっ!!♡♡」

「イクっ♡ イくっ♡ イくからっ♡ イくのっ♡ イづぐっ♡ イぐううううううっ

「!!♡♡♡」

「んおおあああああああああああああつっっ！……♡♡♡♡」

「こひゅっ…♡ あっ…♡ あっ…♡ あああ…♡ んん…はあっ、はあっ、はあっ、見  
てる♡ 私の敗北したところ、みんな見てる♡」

「はあはあ、はあはあ、はあはあ♡ あっ…ああ…んっ♡ はあ、はあ、はあ…うう…♡  
で、デリヘルアプリで指名頂きました♡ 元龍槍神機フロスト・ジーン…♡ あらた  
めえ…♡ んあ♡ どこでもおまんこ奴隷♡ 鷹梨燐の負けヒロイン凌辱♡ 分からせコ  
ース…♡」

「あ♡ ありがとうございます♡ はあ、はあ、はあ…♡ んっ♡ おっ♡」

「はあはあ、はあはあ、はあ、はあ… クソ雑魚メス穴に堕ちちゃいましたがあ♡ また  
のご利用をお♡ 心よりお待ちしております♡…んひっ♡」